

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)門真市松生町計画新築工事	階数	地上6F
建設地	門真市松生町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2020年12月16日
敷地面積	116,696 m ²	作成者	池内 剛
建築面積	7,879 m ²	確認日	2020年12月18日
延床面積	46,452 m ²	確認者	有路 友博



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	3.0
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性	2.4
耐用性	2.8
対応性	2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	2.8
汚染物質	4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	N.A.
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
駐車場内を原則駐車場内を原則一方通行とし、駐車時の渋滞等の緩和によりCO ₂ 削減に努めている。	特になし	
Q1 室内環境 防災センターにて照明制御をすることが出来る。	Q2 サービス性能 駐車場の為、空間の自由さを確保している。	Q3 室外環境 (敷地内) 高熱排出する建築設備は配置していない。
LR1 エネルギー 運用管理体制が組織化され、責任者が指名されている。	LR2 資源・マテリアル 建物がほぼ躯体建物がほぼ躯体の為、再利用が可能。また、有害物質の発生もない。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用しておらず外部空間に対して大気汚染物質を全く発生させていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0128

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)門真市松生町計画新築工事 立体駐車場W棟					
		建設地	大阪府門真市松生町					
		用途/区分	工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B-		
①	CO2削減	★★★★★			評価対象外			
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★			2			
③	建物の断熱性	★★★★★			評価対象外			
④	エネルギー削減	★★★★★			評価対象外			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
		エネルギー消費量の報告						
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				-		
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価			2.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				-		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				-		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項		西面に太陽光パネルを設置。 西・南・北面に壁面緑化を設置した。						